

腰痛文学

腰痛をテーマにした文学のアンソロジー

● 2025年9月12日発売

豊臣秀吉に腰をもませて、失脚を企む柴田勝家。

孫の成長を優しく見守る、腰の曲がったおばあさん。

驚きのあまり腰を抜かしてしまふ幽霊。

そして、座骨神経痛に悩み、湯治へ向かう作家――。

「腰の痛み」や「腰の変調」を抱えた登場人物たちを集めた

小説、随筆、短歌などのアンソロジー。



腰痛文学

【ようつうさんかく】



- 井原西鶴
- 宮本百合子
- 小山勝清
- 壺井栄
- 十返舎一九
- 窪田空穂
- 佐左木俊郎
- 羽化仙史
- 上村松園
- ヘルマン・ヘッセ
- 寺田寅彦

番外編には、今から
117年前に考案さ
れた腰痛対策体操も
収録。
時代を超えて人々を
悩ませる「腰痛」に、
文学から鋭く斬り
こむ！

人々々々々

A5判 64頁 定価：1300円＋税

ISBN：978-4-9913435-2-0 右とじ、A6判208ページ、並製

収録作

井原西鶴 「腰抜けの仙人」

小山勝清 「秀吉の堪忍」

十返舎一九 「あんぼん丹」

佐左木俊郎 「山茶花」

上村松園 「健康と仕事」

寺田寅彦 「ステッキ」

宮本百合子 「ソヴェト映画物語―「新女性線」―

壺井栄 「十五夜の月」

窪田空穂 「卓上の灯」

羽化仙史 「旧情婦」

ヘルマン・ヘッセ 「湯治客」

国民体育研究会 「誰でもできる簡易体操」